

ENHANCED DUE DILIGENCE

Enhance. Simplify. Protect.

REFINITIV™

DATA IS JUST
THE BEGINNING





「知らなかった」では、すまされない

あなたは第三者との取引開始、もしくは契約締結の際、相手のことをすべて把握していますか？
不十分な理解が、あなたやあなたが所属する組織に対して重大なリスクをもたらす恐れがあります。

マネーロンダリング防止や汚職防止などの法律の違反は、知らず知らずの場合でも重大な結果を招きかねません。これらの法律は広範囲に及び、買収先企業が過去に法律に違反していた場合には、買収元企業に適用されます。企業に犯罪歴があれば、罰金や不正利得の返還、付随的な民事訴訟につながり、最終的に利益の何倍もの支出を求められることとなります。

当局は、経営幹部に対する監視を強化しています。不透明な取引関係は、法的にも金銭的にも影響があるだけでなく、組織の評判を著しく低下させ、回復不能な損害をもたらしかねません。

“詳しく知りたい”そんなニーズにお応えします

こうした潜在的な脅威を把握するには、経歴情報の取得や健全性チェックが不可欠です。しかし、効果的なデューデリジェンスに必要なとされる広範な情報の収集作業は、特に取引に第三国が関わる場合や調査担当者が理解できない言語で情報が記述されている場合、手間も時間もかかるものとなります。

当社の「Enhanced Due Diligence (エンハンスド・デューデリジェンス EDD) レポート」は、ビジネス上の関係を持ちそうな相手を徹底的に精査し、地政学的な分析やバッチ・スクリーニングのレベルでは検出できないリスクを明らかにします。デューデリジェンスの監査可能な証拠を提供することで、お客様の法的義務の遵守をご支援します。

Enhanced Due Diligence レポートは以下のような法令のコンプライアンス活動に幅広く用いられています。

- 連邦海外腐敗行為防止法 (FCPA)
- 英国贈収賄法 (UKBA)
- マネーロンダリング防止 (AML)
- 米国愛国者法
- テロ資金供与対策 (CFT)

EDDレポートの詳細

レポートでは、企業、オーナー、事業歴・訴訟歴だけでなく、主要経営陣・意思決定者にまで対象範囲を広げ、経歴、実績、中核能力、利害衝突の可能性、政治・犯罪とのつながり等について読み解くヒントをお届けします。また、業務遂行や評判の推移を分析し、徹底的な調査を実施して簿外負債を見つけ出すこともできます。また、業界団体等からの情報の収集も可能です。

本レポートは、デュー・デリジェンス・プロセスの強化・効率化、風評被害防止を目的に世界中の企業で利用されており、改善策の提供と、低コストにより、時間と費用の大幅な節減を実現します。

一般的な用途

- 汚職防止プログラム (FCPA、UKBA など)
- サプライチェーンのセキュリティ
- AML のデューデリジェンス
- 買収合併、合併事業に入る前の準備
- 富裕層顧客や大口顧客の口座開設業務
- 自動リスクスクリーニングによるリスク検出に
- 地政学的リスク分析で取引または個人に高リスク国とのつながりが検出された場合
- 総合的なコンプライアンス・プログラムの基本構成要素として
- リソースが限界まで使われている既存のコンプライアンス・プロセスの強化



最もオーダーの多いレポートの内容

レポート比較

各レポートに含まれるリサーチ項目			
ライト	ライト・プラス	スタンダード	プレミアム
正確な氏名チェック	正確な氏名チェック	正確な氏名だけでなく、他言語表記、別名チェックも可能	正確な氏名だけでなく、他言語表記、別名チェックも可能
メディア報道、英語メディア、インターネットのチェック	メディア報道、現地メディア報道、インターネットのチェック	メディア報道、現地メディア報道、インターネットのチェック	英語メディア報道およびインターネットの総合的なチェック
グローバル・コンプライアンス・チェック	グローバル・コンプライアンス・チェック	グローバル・コンプライアンス・チェック	グローバル・コンプライアンス・チェック
		公的な企業の記録および企業経歴分析の検索	公的な企業の記録および企業経歴分析の検索
		個人の取引利益、取締役身分確認、個人経歴分析	個人の取引利益、取締役身分確認、個人経歴分析
		訴訟チェック	訴訟チェック
		倒産チェック	倒産チェック
		規制チェック	規制チェック
			エグゼクティブ・リスク・サマリーおよび分析
			ビジネス・インテリジェンスおよびレピュテーション・ソース問い合わせ
			UBOの透明性—企業の株式保有率が高いすべての個人を識別

ENHANCED DUE DILIGENCE (EDD) レポートのライフサイクル

レポート受注

- お客様が EDD チームに連絡してリサーチをリクエスト(お客様が当社オンライン・オーダーリング・プラットフォームの「AEDDO」ご利用の場合、同システム経由でリクエスト)
- アカウント・ディレクターまたは専任ケース・マネージャーが対応し、リクエストに至った背景を正確に把握
- Enhanced Due Diligence のレベル(例えば「プレミアム」レポートや「スタンダード」レポートなど)を決定

レポート・ケース作成

- ケース・マネージャーが内部の作業管理オンライン・システムにてプロジェクト開始
- ケース・マネージャーが作業の範囲・レベルについて合意の有無や必要な添付書類があるかどうかを確認、プロジェクトの締切日と予算も確認

1

2

3

リサーチ・オフィスの割り当て

- プロジェクトに固有のケース・リファレンス番号 (Case Reference Number: CRN) を指定
- 11あるグローバルなリサーチ・チームの中から、チームの言語能力に応じて、ケース・マネージャーがプロジェクトを最適なチームに割り当て

5

予備調査

- 事前チェック項目
 - 適切な法人(レポートの対象)であることが確認できるかどうかのチェック
 - 当該企業の公表プロフィールに基づき、作業の所要時間を見極め
 - 現地会社登記機関から登記書類を取り寄せ

4

リサーチ・アナリストにケースを割り当て

- プロジェクトを適切にリサーチ・アナリストに割り当て
- プロジェクトが複雑で、ネイティブ言語でのリサーチや現地調査が必要な場合、サポート・チームに通知
- 当社のインタラクティブな作業管理システムを通じて各チームに締切日が周知されるため、限られた期間内にさまざまな作業を同時に調整可能

詳細リサーチ

- リサーチ・アナリストが一般公開のリサーチを基に、以下の項目を開始
- 対象者の想定されるすべての氏名(表記方法の違い、過去の氏名、別名)を網羅する総合リストを作成し、この名前すべてについてニュースやアーカイブのチェックを実施
- 最新の登記情報を収集し、会社登記書類を分析
- 報道記事を調査し、対象者およびその評判について完全なプロフィールを作成するため関連情報を分析
- グローバル・コンプライアンス・チェックのデータベース、制裁リストを基にチェックし、対象となる法律適用地域のカントリーリスク指数を確認
- 法人が拠点を置く国に特化した訴訟記録、倒産チェック、法執行情報のデータベースを使って詳細チェックを実施
- 誤検知を消し込み、追加リサーチの必要があれば実施

6

7

レポート草稿作成

- ビジネス・インテリジェンスのオンサイト問い合わせの結果をレビュー・分析
- リサーチ・アナリストがレポート草稿を作成
- リサーチ・アナリストが自己レビューと校閲を実施後、リサーチ・スーパーバイザーのレビューへ

9

ケース・マネージャーによるレビュー、お客様への納品

- ケース・マネージャーのレビュー完了後、AEDDOまたはメールにてお客様に納品

8

リサーチ・スーパーバイザーによるレビュー

- リサーチ・スーパーバイザーがレポート草稿をレビューし、関連のあるすべての文書が安全対策済みのサーバーに格納されているかどうかチェック
- ほとんどのプレミアムレポートのほか、すべての複雑なレポート(複数拠点のリサーチを網羅するレポートや詳細分析を必要とする重要情報を含むレポートなど)については、リサーチ・マネージャーもレビュー・プロセスに参加

Why EDD Reports? レポートが選ばれる理由

法律にのっとり、慎重に倫理基準に沿って対応

当社では、倫理基準に沿って、相手方に調査の実施を明らかにしないリサーチ手法を守り、健全性を確保しています。対象者に意識させることなくデューデリジェンス・レポートの調査を実施し、また、リサーチ業務受託の際、当社の活動について不正確な説明もいたしません。

公開・非公開の情報源

当社のレポートは、現地メディアや国際メディア、地域や国の規制機関、裁判記録など、さまざまな公開情報や非公開情報の提供個人および団体協力の下で編集されています。

費用対効果に優れたデューデリジェンス

Thomson Reuters Enhanced Due Diligence レポートは、徹底的な調査や総合的な内容の特徴としていますが、同時に費用対効果と透明性も追求しています。当社ではレポートの作成を下請け業者に外部委託しないため、余計な費用は一切かかりません。

短期間で迅速に対応

当社では、高度に研ぎ澄まされたワークフローとグローバルなインフラを構築しているため、品質を犠牲にすることなく、短期間でレポートを作成できます。納期は明確で、一貫性と迅速性があるため、通常は10営業日以内、場合によっては24時間という短納期の納品にも対応しています。

対象範囲はグローバルに、現地に精通した調査

当社のリサーチ・アナリストは、世界各地に配置されており、60以上の言語に対応しています。レポートに盛り込まれる情報のほとんどが当該国から現地の主要言語で入手されます。単に外国語もわかるアナリストとは異なり、現地言語が母語であるアナリストが担当するため、資料に含まれる詳細な情報も漏らさず読み取ることができます。

社内のスキルだけを活用

デューデリジェンスのレポートやリスク情報の収集は、すべて内製化されており、当社のリサーチ・アナリストが最後まで対応します。このため無駄な費用は一切かからず、また、情報が外部に漏れるといったリスクもなく、一貫性のある結果を常に迅速に出すことができます。

常に品質第一を追求

当社では、詳細な経歴チェックに独自のノウハウを持っており、一般に入手が難しいとされる情報であっても、確かな情報を確保しています。当社が提供する情報は極めて重要であるため、調査活動に当たっては、厳格な水準と品質管理を徹底しています。

新興市場に強み

当社は、新興市場やフロンティア市場のデューデリジェンス・レポート提供にいち早く乗り出し、長年にわたり、こうした地域でのノウハウを継承しています。



Web サイト: refinitiv.com/ja

お問い合わせ先

URL: refinitiv.com/ja/ask

電話: 03-6743-6515